

チャレンジ 国際科学技術コンテスト

理数系に関する国際オリンピックがあり、国内予選への参加者が募集されています。国内予選を勝ち残ると、国際大会へ出場できます。世界の高校生と交流できる素晴らしい機会となることでしょう。興味がある人は、担当の先生へ申し出てください。国際大会への派遣は、現在の2年生までを対象とするコンテストが多いです。詳細は国際科学技術コンテストに関するホームページ (<https://www.jst.go.jp/cpse/contest/>) で確認してください。

○ 物理チャレンジ2018

郵送の場合、5月21（月）までに事務局必着です。学校内での手続きがありますので、物理担当の安富優児先生へ、5月11日（金）までに申し出てください。

スケジュール

校内申込み：5月11日までに安富先生へ

- 第1チャレンジ レポート『輪ゴムを引く力と伸びの関係を調べてみよう』提出締切6月15日（金）
- 理論問題コンテスト（90分）7月8日（日）会場（宇部高校）
- 第2チャレンジ 第1チャレンジの成績によって全国から約100名を選出。
会期：8月19日（日）から22日（水）まで
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）
- 国際物理オリンピック イスラエル大会へ日本から5名を派遣 2019年7月

○ 化学グランプリ2018

郵送の場合、6月8日（金）までに事務局必着です。学校内での手続きがありますので、化学担当の木村充先生へ、5月31日（木）までに申し出てください。

スケジュール

校内申込み：5月31日までに木村充先生へ

- 一次選考 7月16日（海の日）山口大学吉田キャンパス 全国の上位者から80名程度を選出
- 二次選考 8月17日（金）から18日（土）筑波大学筑波キャンパス
化学グランプリに参加した中学3年生、高校1・2年生の中から20名程度が、翌年の国際化学オリンピック代表候補へ。
- 第50回国際化学オリンピック フランス・パリ大会

○ 日本生物学オリンピック2018

申込期限は5月31日（木）までですが、校内の手続きがありますので、生物担当の児玉へ5月18日（金）までに申し出てください。

スケジュール

校内申込み：5月18日までに児玉へ

- 一次選考 7月15日（日） 13:30～15:00（90分）山口大学吉田キャンパス
全国の上位者から80名程度を選出

裏面へ続きます

- 二次選考 8月16日(木)から19日(日)まで 東京大学 約15名を選出
- 代表選抜試験 2019年3月21日 会場:科学技術館(東京) 日本代表4名を選出
- 第30回国際生物学オリンピック 2019年7月 ハンガリー

○ 第29回日本数学オリンピック

申込期限は9月30日(日)までですが、校内の手続きがありますので、数学担当の真名子先生へ9月20日(木)までに申し出てください。

スケジュール

校内申込み: 9月20日までに真名子先生へ

- 予選 1月14日(成人の日) 13:00~16:00 会場はホームページに掲載予定
成績順にA、B、Cランクとして通知
- 本選 2月11日(建国記念の日) Aランク者を対象に、4時間の記述試験
上位20名程度を代表選考合宿へ招待
- 代表選考合宿 2019年3月下旬 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)
代表候補6名を決定

○ 第18回 日本情報オリンピック

申込期間は、10月9日(火)から12月6日(木)です。校内の手続きがありますので、情報担当の森本先生へ11月22日(木)までに申し出てください。

スケジュール

校内申込み: 11月22日までに森本先生へ

- 予選 12月9日(日) 13:00~16:00
- 本選 2019年2月9日(土)から10日(日)
- 春季トレーニング合宿:2019年3月19日(火)から3月25日(月)まで(予定)

やまぐちサイエンス・キャンプ

観察・実験、実習を通して、サイエンスに関わる魅力・おもしろさを実感し、難しい課題に対して自ら挑戦する意欲の向上と、国際科学技術コンテストに向けた能力(論理的思考力、観察・実験の技能)の伸長を図ることを目的として、「やまぐちサイエンス・キャンプ」が開催されます。

主催: 山口県教育委員会

共催: 山口大学

日時: 平成30年6月16日(土)から17日(日)まで

場所: 昼のプログラム 山口大学吉田キャンパス 及び 山口県セミナーパーク

夜のプログラム 山口県セミナーパーク

対象: 高校1年、高校2年

費用: 2,580円(宿泊費・食費)

内容: 物理・化学・生物・地学・数学の5つの講座から選択し、講義と実験・実習を受講する。

講座	テーマ	概要
物理	波の回折から分かること	光やX線の回折現象に関する講義と実験。
化学	分ける	講義や実験を通じて「分ける」ことの原理からその難しさを学ぶ。
生物	分子から個体までの生物学	分子から個体レベルの生命現象や研究方法を学ぶ。
地学	深海底に砂を運ぶしくみ	室内での実験と野外観察を通じて混濁流の実態に迫る。
数学	初等整数論への扉	整数に関する基本事項から初等整数論における重要な定理を学ぶ。

参加希望者は、生物担当の児玉へ5月10日(木)までに申し出てください。